

The Yamaguchi Prefectural Museum of Art

山口県立美術館ニュース「天花」

102

contents

常設展
第60回山口県美術展覧会
年間スケジュール

天花

TENGE



松田正平 「月夜」 1956年 山口県立美術館蔵

常設展

香月泰男室

「松田正平の世界」

8/22 tue ~ 10/1 sun

表紙作品解説

松田正平「月夜」1956年
油彩・カンヴァス 116.5×80.9cm
山口県立美術館蔵

今夜は月夜です。ごらんください。青みをおびた夜空に、黄色い半月が、こうこうと輝いています。少し離れたところに、大きな星も見えます。輝きがよほど強いのか、月と星を取り囲むように、白くぼやけた光の輪郭線が現れています。月の下の空は、月光をうけて緑色。ともすればおとぎ話のような幻想的な場面ですが、静かにたたずむ木立らしきものの赤色が、かすかな不気味さを漂わせています。

他のものはみな単純化されて、ただ月の光だけがぐんぐん自分に迫ってくる。そんな体験を、作者はしたのかもしれませんが。

この絵の作者は山口県宇部市出身の画家、松田正平(1913~2004)。力の抜けた、きどらない飄々とした画風を思い出す方も多いでしょう。しかしこの作品では、青-黄、緑-赤という色彩の対比や、単純で力強い線、厚く塗り重ねられた絵肌から、制作時の絵筆の動きや作者の葛藤が生々しく伝わってきます。

当時、松田は40代前半で、一家をかまえながらも画家としての成功をつかみできていませんでした。「戦争がやっと終り、四十、五十と齢を重ねても、画では果てしなく食えなかった」というのは松田の言葉です。生々しい絵肌に、絵に対する作者の切実な思いを見ることがもできるでしょう。

(当館学芸員 剣持あずさ)

鑑賞す
りもま
うな、

等は無料



会場風景

助教授)

化財課長)

興課長)

自
審

大

手
重
い
降
つ
後
き
なし
遠
の
系
の
ら
た
人
間
に
引

優

岩
中
山
山
吉

審

青木
岡部
河崎藤田隆治「群鶴図」(部分)1952年
山口県立美術館蔵

小林和作室

「藤田隆治の世界」 8/22~10/1

豊北町(現:下関市豊北町)出身の藤田隆治(1907~1965)は、1936年のベルリン・オリンピック芸術種目で銅メダルを受賞しました。具象的な絵を描いていた藤田は晩年には抽象へ踏み込み、形態の解体と再構成によって原始的な生命感のある作品を生み出しました。来年に生誕100年を迎える藤田隆治の絵画世界を紹介します。

郷土工芸室

「現代の陶芸II」 8/22~10/1

茶碗や水指のイメージが強い萩の陶芸には、壺や花器にも優れた作品があります。山口で活躍する萩焼やそれ以外のやきものによる壺や花瓶を中心に紹介します。

吉賀大肩「花器『曉雲』」1973年
山口県立美術館蔵

資料展示室

「佐藤明の写真」 8/22~10/1

佐藤明(1930~2002)は、1959年に東松照明、奈良原一高、細江英公らとともに写真家集団「VIVO」を結成し、写真表現の革新を目指しました。晩年まで戦後日本の写真界を牽引し続けた佐藤の代表的シリーズ「冷たいサンセット」「おんな」「サイクロピア」などを紹介します。

佐藤明「冷たいサンセット」1960年
山口県立美術館蔵

美術館ボランティアによる「常設展ギャラリーツアー」

毎週土曜日 13:30~ 30分程度 常設展観覧券をお持ちのうえ、常設展示室入口にお集まり下さい。

臨時休館のお知らせ

10月2日(月)~10月31日(火)の間、「雪舟への旅」展の準備のため全館休館といたします。皆さまにはご迷惑をおかけいたしますが、どうぞご了承ください。「雪舟への旅」展は11月1日(水)にオープンします。万全の準備を整えて、ご来館をお待ちしております。

第10回やまぐち県民文化祭

第60回

山口県美術展覧会

2006年9月7日(木)～9月24日(日)

開館時間/9:00-17:00(入館は16:30まで)

休館日/9月11日・9月19日

趣 旨

「つくる・みる・ささえる」の創造的調和

制作の創造性を高める(つくる)と同時に、美術作品を鑑賞すること(みる)や美術文化を支えていくこと(ささえる)もまた優れて創造的な行為であるとの意識を育成できるような、総合的な美術文化の普及と振興をはかります。

会 場 山口県立美術館

観 覧 料 一般250(200)円 学生(200)150円

()内は20名以上の団体料金
70歳以上、18歳以下、中等教育学校、高等学校、盲・ろう・養護学校在学生の方等は無料

主 催 山口県・山口県教育委員会

問い合わせ先 山口県美術展覧会事務局：山口県立美術館
山口市亀山町3-1 tel:083-925-7788



会場風景

第60回山口県美術展覧会運営委員(50音順)

荒瀬 景敏 (美術作家)	小南 英昭 (山口県立大学生活科学部 助教授)
濱本 聡 (下関市立美術館 館長補佐)	原田 文明 (美術作家)
堀家 敬嗣 (山口大学教育学部 助教授)	松本 弘 (山口県教育委員会 社会教育・文化財課長)
三輪 和彦 (美術作家)	森川 紘一郎 (周南市美術博物館長)
横山真佐子 (児童書専門店「こどもの広場」主宰)	吉野 道久 (山口県環境生活部 文化振興課長)

つくる (公募部門)

自由な意識や現代社会に根ざした作品を募集し、その優秀なものを展示します。

審査会 平成18年8月29日(火)・30日(水)



大賞

手嶋 大輔 (福岡県) 「ヒトリゴト2」

重力から解き放たれた軽やかさ。空から舞い降りたような少年の姿は、断崖絶壁に立つ者のように潔癖である。(…略…) 瞳を後部からどのように入れ込んだのかわからない完璧なまでの木彫の仕上げのために、遠めには、見知ったプラスチックのオタク系のフィギュアにも見える。あくまでも柔らかな色彩に包まれたごく普通の少年像、人間存在の重みを荷ないながらも、軽やかに飛翔し救済する祈りを感じる。

(岡部あおみ) ※審査評より抜粋



部分



全体

優秀賞 (50音順)

岩崎 貴宏 (広島県) 「Out of Disorder」

中島しま子 (萩市) 「作品06」

山科 君代 (山口市) 「みのり」

山本 尚明 (防府市) 「unw20815～消せない記憶」

吉村 芳生 (山口市) 「色鉛筆で描く花の世界『徳地に住んで見えてくるもの』」

審査員

青木 正弘 (豊田市美術館学芸担当専門監)

岡部あおみ (武蔵野美術大学教授)

河崎 晃一 (兵庫県立美術館学芸員)

みる (ワークショップ部門)

鑑賞行為の創造性を体験してもらうためのワークショップを開催します。

「自作を語る」

第60回山口県美術展覧会入選者のうち、希望者に展示作品について語ってもらいます。

詳細・実施日時については展覧会開始後、山口県立美術館ホームページ、展覧会会場入口の掲示でお知らせします。

「がらすごし」

平成18年9月16日(土) 14:00-

対象：小学校4・5・6年生・中学生

定員：20人 (要事前申し込み・先着順)

講師：倉科勇三 (美術家)



「しろいろくろいろ」

平成18年9月17日(日) 14:00-

対象：高校生以上

定員：30人 (要事前申し込み・先着順)

講師：倉科勇三 (美術家)



「がらすごし」「しろいろくろいろ」の参加申込方法

ワークショップ名、氏名、年齢、住所、電話番号を記入した往復はがき、またはe-mailでお申し込みください

●お問い合わせ・申込先

〒753-0089 山口市龜山町3-1

山口県立美術館「県美展ワークショップ」係

tel: 083-925-7788 e-mail: a50702@pref.yamaguchi.lg.jp

※記入いただいた個人情報、第60回山口県美術展覧会ワークショップに関する業務以外には使用しません。

ささえる (ボランティア部門)

広く県民から募集した美術館ボランティア・スタッフの県美展運営への参画により、芸術支援の活動を広く展開してもらいます。

「カ・タ・チになるまで」 (パネル展示)

会場に展示されている作品は、どうやってできあがったのでしょうか？ 搬入から組み立て・展示まで、ボランティアが密着取材しました。

2006-2007

schedule

山口県立美術館 平成18年度年間スケジュール

特別展

常設展

4
4/7～5/21
ウィーン美術アカデミー名品展
ヨーロッパ絵画の400年

5
5/26～6/4 伝統工芸新作展

6
6/27～7/23
雲谷派展Ⅰ

7
7/25～8/20
雲谷派展Ⅱ

8
9/7～9/24
第10回やまぐち県民文化祭
第60回山口県美術展覧会

4/1
山口の工芸
(金工と赤間硯)
中本達也の世界

JAコレクションの軌跡

5/30
戦後日本画の
変遷
6/25

6/11
6/13
現代の陶芸Ⅰ
小林和作の世界

香月泰男の版画

常盤とよ子の写真

8/20
8/22
現代の陶芸Ⅱ
松田正平の世界

藤田隆治の世界

佐藤明の写真

10/1

10/2～10/31 臨時休館

11/1～11/30
没後500年記念特別展覧会 雪舟への旅展

12/1～12/11 臨時休館

12/19～12/24 第58回学校美術展覧会

1/11～1/14 山口県高等学校総合文化祭
展示部門展

1/31～2/4 山口県立大学卒業制作展
2/8～2/11 山口芸術短期大学卒業制作展
2/15～2/18 山口大学卒業制作展

3

12/12
植木茂の小品展
桂ゆきの世界

山口県ゆかりの
洋画家

12/27
日本水彩画会の
二人
一河上左京と
河上大二

2/25
2/27
現代の陶芸Ⅲ
宮崎進の世界

永地秀太 中村正也
の世界 の写真

松林桂月の世界

Information

■休館日

月曜日(月曜が祝日もしくは振替休日の場合は翌日休館)
年末年始(12月28日～1月3日)
10月2日～31日、12月1日～11日

■開館時間

9:00～17:00(入館は16:30まで)

■料金

常設展:一般190(160)円 学生120(100)円
()内は20名以上の団体料金
特別展:別途に定めた料金
常設展・特別展ともに18歳以下と70歳以上および高等学校、
盲・ろう・養護学校に在学する方等は無料。
教育文化週間11月1日～11月7日は全ての方が無料。

山口県立美術館
The Yamaguchi Prefectural
Museum of Art
〒753-0089
山口市龜山町3-1
TEL:083-925-7788
FAX:083-925-7790
<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/kenbi>

